

かくだ市議会だより



第426回定例会

- 概要・質疑 …………… 2
- 常任委員会・会派代表質問 ……… 3
- 予算審査特別委員会 …………… 4・5
- 議案審議結果 …………… 6
- 一般質問 …………… 7～13

第425回臨時会

- 概要 …………… 3

角田市議会から

- 議会だよりモニター委嘱状交付式 … 14

【今号の表紙】『五月の水鏡』

五月晴の下、田植えの済んだ田んぼの水面に、蔵王連峰を背景に阿武隈急行が、クッキリ映る季節限定の風景です。

《撮影》齋藤 吉信 さん

撮影日：令和5年5月11日 場 所：角田市岡

表紙写真・イラスト等募集しています

8月1日号の応募は6月21日（金）まで

詳細は角田市ウェブサイト内「かくだ市議会だより表紙写真・イラスト募集」をご覧ください。



2月 第426回 定例会

第426回定例会は2月16日から3月14日までの28日間の会期で開かれました。

市長から提案のあった令和6年度予算や条例の改正などの議案32件を審議し、原案のとおり可決、人権擁護委員の候補者の推薦に係る諮問1件を適任と答申しました。

また、一般質問では12人の議員が市政全般にわたり論戦を繰り広げ、施政方針に対する会派代表質問も行われました。

最終日には議員提出議案が1件提出され、原案のとおり可決しました。

議案第3号 角田市一般会計補正予算(第10号)

農村公園管理事業

問 高倉農村公園の東屋の水車を撤去するに至った背景について問う。

答 東屋と一体となっている水車が、老朽化により腐食し修復できない状態となっている。また、地元から撤去の要望もあり、安全の確保を図るため、水車部分を撤去し東屋を補修するものである。



▲東屋と撤去前の水車

議案第17号 角田市民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税率を宮城県が示す市町村標準保険料率(市町村算定方式)と同水準に引き上げるため、所要の改正を行うもの。

問 モデルケースとして、4人家族(40代夫婦、長男20歳大学生、長女16歳高校生で、夫の年間所得200万円、妻の年間所得100万円)の国民健康保険税の増加率は。

答 令和5年度(税率改正前)は年額37万7700円、令和6年度(税率改正後)は年額50万7700円、年額は年額13万円の増となり増加率は34%となる。税額の通知に説明資料を同封するなど、納税義務者へわかりやすい情報発信を行っていく。

議案第22号 角田市消防団に関する条例の一部改正

消防団の機能強化を図るため、個々人の能力や実情に配慮し、特定の任務に限り従事する「機能別消防団員制度」を導入するため、所要の改正を行うもの。

問 機能別消防団員は、どのような任務にあたるのか。

答 火災発生時の消火活動の支援、災害時の消防団及び水防団活動、警戒活動・消防水利の点検などに従事する。消防団が行う演習や諸行事、訓練には参加しないが、団長が活動を行う上で必要と認める訓練を行うことがある。また、活動内容は今後の活動状況や消防団幹部会議を踏まえて適宜見直しを図っていく。

消防団員の概要

区分	基本団員	機能別団員 (特定の任務に限り従事する団員)
資格	年齢満18歳以上 心身強健にして志操堅固	基本団員の条件に加え、消防団を退団又は消防吏員を退職
任命	市長の承認を得て団長が任命	分団長の推薦に基づき市長の承認を得て団長が任命
定年	満60歳	満75歳
年額報酬	36,500円	20,000円

議案第34号 角田市道路路線の認定

問 東田町線の路幅、長さなど詳細説明を求め。

答 延長123.2m、幅員7.5m(車道4m、路肩1m(左右各0.5m)、西側に2.5mの歩道を設置)で、対面通行となる。

人権擁護委員の候補者の推薦
《再任》阿部和子
任期 令和6年7月1日(3年間)

皆ごんからの陳情

▼年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の提出を求める陳情
小坪 慎也

▼現行の健康保険証の存続を求める意見書の提出を求める陳情
宮城県保険医協会
理事長 井上 博之

国の関係機関に意見書を提出
現行の健康保険証の存続を求める意見書
いつでも、どこでも、だれもが安心して医療を受けられる国民皆保険制度を堅持するため、2024年秋に現行の健康保険証の廃止を拙速に行わず、慎重に検討を進めるよう、衆・参議院議長ほか、国の関係機関に意見書を提出しました。

議案第10号 角田市損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例の制定

昨今の社会情勢により中小企業者等は厳しい事業環境下にあることを踏まえ、回収納付金を受け取る権利の放棄の対象範囲を広げ、中小企業者等の円滑な事業再生等を支援するため、条例の全部改正を行うもの。

総務産業常任委員会での質疑

問 現在の債務保証件数と債務残高は。

答 債務保証件数は147件、債務残高は7億6425万9千円である。

問 対象範囲が「東日本大震災により被害を受けた中小企業者等」から「中小企業者等」に拡大している。今後数年間の権利の放棄の件数と金額の見込みについて問う。

答 経済情勢や各企業の経営状況を勘案しても、権利の放棄の件数を予想することは難しいが、宮城県信用保証協会では、コロナ禍支援の終了等により件数が増えるの見込みである。

問 条例施行以後、債務保証をしている147件も対象となるのか。

答 条例施行以後に、条例に規定する再生に関する計画等が作成され、中小企業者等の振興及び地域経済の活性化に資する場合には対象となる。

会派代表質問



かくだ未来倶楽部
武藤 広一

議員▼「令和7年度の市民活動支援センター(仮称)開設に向けた準備」の具体的内容は。

市長▼県内外の既設センターの視察や情報収集、市内のNPO法人や市民団体のニーズ調査等を行う。センターの目的・活動内容・機能・サービス・施設の規模等は多種多様なため、本市の実情に即して検討を進める。

議員▼「新婚世帯移住・定住促進、各種体験事業からの関係人口づくりを進める」とは。

市長▼新婚世帯・移住の補助金等の継続、体験事業では農業を核とした関係人口づくりに取り組む。また、新規に移住・定住コーディネートを設置し、移住相談窓口機能を強化し、促進していく。
議員▼「女性の活躍推進について」問う。

市長▼審議会等では、委

員改選時期に女性委員の登用を積極的に進めている。庁内の政策・方針の決定過程時における女性参画では、管理職等への女性登用を推進している。

議員▼「一定程度の女性枠を設ける考えはあるのか」
市長▼引き続き、検討していく。

議員▼「角田市学校の適正規模等に関する基本構想における第3次行動計画構想の見直し」とは。

市長▼行動計画は、令和10年度から15年度中に、横倉小を角田小に、北角田中を角田中に各々統合、桜小と北郷小を再編し(仮称)北角田小を新設する構想である。3月に角田市学校規模検討委員会を設置し、児童生徒数の現状、学校施設の老朽化や本市の財政の状況等の課題を委員で共有し、行動計画を検証・議論していく。

会派代表質問とは、会派に所属する議員が、会派を代表して質問することです。角田市議会では、「施政方針(2月定例会)」と「市長の所信表明」に対して行われます。

議員▼第3次行動計画を前倒しするのは。

市長▼検討と議論の時期は前倒しだが、行動計画は前倒ししない。

議員▼「子育てしやすいまち 日本一」を目指す。市長の熱意に共感する。さらなる思いを問う。

市長▼子育て世帯の経済的負担軽減のため、令和5年度は、子ども医療費の無償化に加えて、学校給食費・保育料の第2子以降の無償化等を、令和6年度からは基金を活用し、学校給食費・保育料の完全無償化により支援を拡充する。子育て支援を充実し、子育て世帯に選ばれるまちを目指す。
議員▼有名な子育てのまちを参考にしたい。
市長▼参考となる自治体から学び、政策等に活かしていく。

第425回臨時会

2月2日に1日の会期で行われた臨時会では、市長より提出のあった次の2議案を審議し、いずれも全会一致で可決しました。

手数料条例等の一部改正

戸籍謄本等の広域交付などの事務が創設されたことに伴い、手数料を定めるため、所要の改正を行うもの。
令和5年度角田市一般会計補正予算(第9号)

物価高騰等による支援金などの追加により、歳入歳出それぞれ1億1993万7千円を追加するもの。

? 議会のギモン

「定例会」と「臨時会」の違いってなに?

「定例会」は、その名のとおり定期的に招集されます。角田市議会の場合、条例で年4回と定められており、通例として2月・6月・9月・12月に招集されます。

「臨時会」は、必要がある場合にその案件に限り招集されます。

定例会も臨時会も招集するのは市長の権限ですが、議長が議会運営委員会の議決を経て招集を請求した場合と議員定数の4分の1以上の議員から請求があった場合には、市長は臨時会を招集しなければなりません。

予算審査特別委員会での質疑

総務費

デジタル改革推進事業

問 令和5年度と比較して大幅に増額している理由は。
答 令和5年度中に整備した市民課の書かない窓口システム(※1)の本格運用に係る経費と市民センターのオンライン予約に係る予約管理システムの経費の利用料等が増額している。また、法律に基づき地方自治体の基幹業務(※2)が令和7年度までに全国的に標準化されることに伴い、令和6年度中に標準準拠システムへ移行するための設計・構築に係る経費を新規で計上しているためである。

農林業費

農村地域防災減災事業(赤生地区水路整備工事費)

問 災害防止のために赤生ため池跡地の工事を行うとのことだが、どのように整備するのか。
答 大雨等による土砂流出を未然に防止、抑制するため、排水路を整備する。
問 令和5年度に測量設計、令和6年度に工事着工とのことだが、完成の時期はいつか。
答 整備する位置が県管理河川である小田川の河川上にあるため、現在、県と協議を行っている状況である。

民生費

地球温暖化対策事業(スマートエコライフ推進事業費補助金)

問 事業内容について、詳細説明を求める。
答 家庭用の太陽光パネル、蓄電池、高効率給湯器を設置した場合に購入費用の一部を補助する事業で、令和5年度から実施している。令和6年度は比較的家庭で取り組みやすいLED照明器具を追加することで、自然エネルギーや省エネルギー関連設備の普及を推進し、地球温暖化の防止と環境意識の高揚を図り、ゼロカーボンを目指す。

民生費

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業(フレイル測定会実施業務委託)フレイル予防運動指導業務委託)

問 フレイル測定会・フレイル予防運動指導とはどのようなことを行うのか。
答 75歳以上の方を対象とした新規事業で、フレイル状態(※3)の方を早期発見するため、脚力・握力・口腔機能など様々な測定を行う。また、健診結果や質問票を活用し、歯科・栄養・運動などの側面から健康教育を行う。

※1 窓口で、住所変更などの手続きの際に本人確認後に、職員が聞き取りにより必要な申請書を作成し、申請者は申請書の確認と署名だけで手続き完了となるマイナンバーカードを活用した窓口支援サービスのこと。
※2 住民情報を扱う住民基本台帳、国民年金、固定資産税、個人住民税、国民健康保険、障害者福祉、後期高齢者医療、介護保険、児童扶養手当、戸籍、生活保護、健康管理、就学、印鑑登録等の20の業務のこと。
※3 加齢により筋力や心身の動きが低下し、要介護状態に近づいてきた状態のこと。

本会議での討論



賛成

柄目 孝治

新年度に向けた施策・事業として、保育料・小中学校給食費の完全無償化、子ども医療費無償化の継続をはじめ、本市の最大課題である雨水災害対策としての防災・減災対策の着実な進展、特に裏町・野田地区におけるポンプ場改築工事・雨水幹線築造工事など浸水被害防止のための事業、そして阿武隈急行線の継続した正常な運営に地域を挙げて臨んでいく構えと確認でき、全ての予算案に賛成する。



賛成

武藤 広一

主な歳出は、保育料及び学校給食費の完全無償化や国が進める物価高騰対策支援給付金の支給に係る経費、防災減災構想を推進するための投資的経費の増、ふるさと納税寄附金を10億円見込んだことによる返礼品の経費の増など。歳入は、税収等の確保を図り、未利用公有資産売却の推進、各種特定目的基金の活用、適切な市債の活用により財源を確保するとの説明に理解するもので、全てに賛成する。



反対

日下 七郎

歳入の財政調整基金7億6,500万円の繰入金は、総務省の事務連絡「地方財政の見直し・予算編成上の留意事項等」を逆手にとっている。年度末残高が角田市の場合、標準財政の10%(8億円)以内とするため、年度末補正で令和5年度同様の財政調整基金(一般財源)を目的基金(特定財源)にとの懸念があり、更に瑕疵のある第6次長期総合計画の予算編成であるため、反対する。

令和6年度 角田市一般会計予算 153億5,400万円

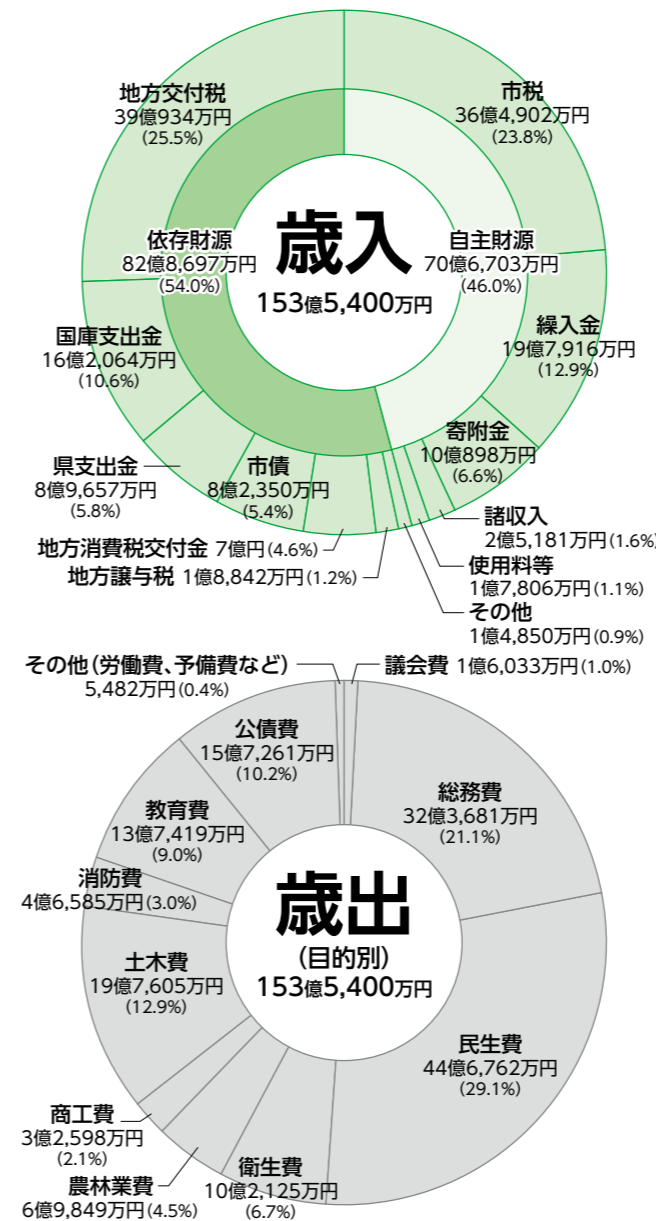
(前年度比18億5,700万円増)

一般会計・特別会計・企業会計 予算総額262億2,788万円

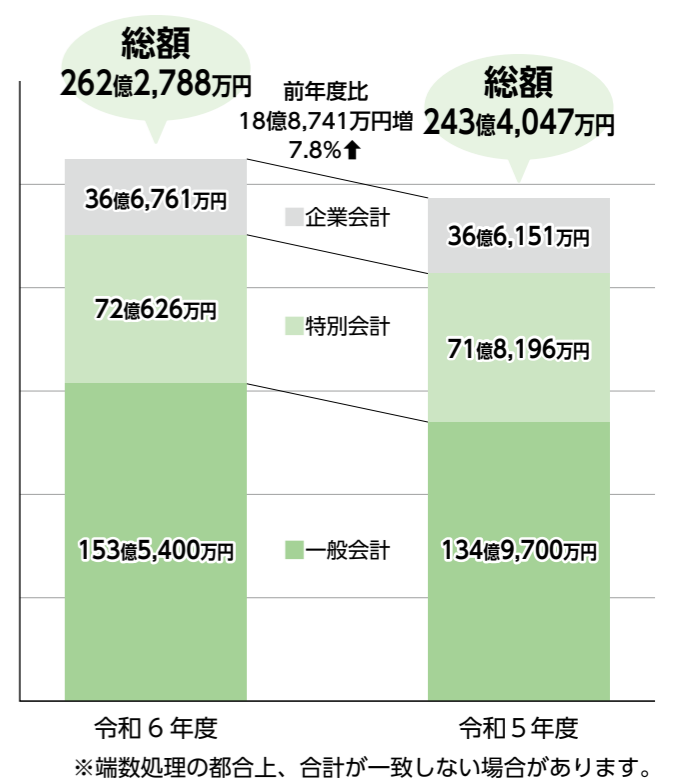
2月定例会では、16人の全議員で構成する予算審査特別委員会(菊地利衛委員長、武藤広一副委員長)を設置し、令和6年度予算を審査しました。

一般会計では、保育料と学校給食費の「完全無償化」に係る経費や国の経済対策の一環である物価高騰等対策支援給付金の支給に係る経費のほか、防災減災構想に掲げる大沼野田前線道路整備などの予算措置により、前年度と比較して13.8%の増加となる予算が示され、本会議での表決の結果、全ての予算の議案が可決しました。

一般会計の歳入・歳出予算の内訳



角田市の令和6年度当初予算の規模



? 議会のギモン

特別委員会ってなに?
A 特定事件(ここでは令和6年度予算のこと)を審査(または調査)するために設置する委員会のことで、議会の議決により設置します。角田市議会では、2月定例会で翌年度の予算を審査するために「予算審査特別委員会」を設置し、詳細に審査が行われました。

一般質問

一般質問とは、角田市のさまざまな課題等について、市長や教育長などに対し、事務の執行状況や将来の考えなどを質することです。質問は一問一答で、議員1人につき30分以内（答弁時間は含めない）で行われます。

質問した議員ごとに要約してお知らせします。（その他の質問の要約は掲載されておりませんので、録画中継の配信をご視聴ください。）

質問議員 (質問順)	質問項目	頁
齋藤 克敏	産婦人科・小児科について その他の質問 ・行政施設の設備について	8
菊地 利衛	歩行者および自転車等が安全に走行できる道路整備について 令和6年度施政方針について	8
戸村眞喜夫	気候変動等の災害に備えるため池管理について 自転車用ヘルメット着用促進事業の進捗状況について	9
星 隆悦	令和6年度施政方針について	9
瀧口 聖人	中山間地区の火災並びに生活用水対応策として水道水管の延長と防火水槽等の消防設備の促進について	10
齋藤 強	更なる少子高齢化の時代に備えた安心した生活・将来に向けて 角田市防災・減災構想について AED設置について	10
日下 七郎	令和6年度角田市予算案及び施政方針に関する説明要旨に関することについて その他の質問 ・再度の角田市防災・減災構想に関することについて ・市道路線番号 2062 大和橋島内線の市道敷地内に設置されている鳥居等の撤去について	11

ライブ・録画配信をやっています

<http://www.kakuda-city.stream.jfit.co.jp>



インターネットを利用したパソコン・スマートフォン・タブレット端末でライブ中継をご覧いただけます。
また、インターネットによる録画中継の配信も行っております。

角田市議会 映像配信 検索

第425回 (令和6年2月) 臨時会

傍聴者数 1人
インターネットライブ中継視聴者数 延べ 15人

第426回 (令和6年2月) 定例会

傍聴者数 1人
インターネットライブ中継視聴者数 延べ 356人

インターネット録画中継視聴者数

1月～3月 延べ 1,021人

質問議員 (質問順)	質問項目	頁
柄目 孝治	特定都市河川への指定が予定されている小田川は じめ4河川の流域治水事業について	11
菅野 マホ	「阿武隈急行線保守への覚悟／会津只見線」について その他の質問 ・「夜間の交通安全／交通安全講習会に学ぶ」について	12
渡邊 誠	地区振興協議会要望事業について	12
八島 定雄	「空き家」対策の現状と今後について 教員の長時間勤務による「学校の危機」認識とその改善策について	13
小湊 毅	角田市のゼロカーボンシティに向けた取り組みについて	13

審議結果一覧

賛成と反対がわかれたもの

○…賛成 ×…反対 ……退席又は欠席 議長(馬場 道晴)は採決に加わらない。

提出者	議案番号	件名	審議結果 (賛成:反対)	会派一心		かくだ未来倶楽部		日本共産党角田市議団		無党派 (会派に所属しない議員)								
				菊地 利衛	小湊 毅	戸村眞喜夫	渡邊 誠	武藤 広一	菅野 マホ	瀧口 聖人	日下 七郎	八島 定雄	齋藤 克敏	湯村 勇	齋藤 強	星 隆悦	柄目 孝治	堀田 孝一
市	議案第3号	令和5年度角田市一般会計補正予算(第10号)	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第7号	令和5年度角田市産業用地造成事業特別会計補正予算(第1号)	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第12号	角田市印鑑条例の一部改正について	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第17号	角田市国民健康保険税条例の一部改正について	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第18号	介護保険条例の一部改正について	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第22号	角田市消防団に関する条例の一部改正について	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第24号	給水条例及び角田市水道事業に係る布設工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格に関する条例の一部改正について	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第25号	令和6年度角田市一般会計予算	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第26号	令和6年度角田市国民健康保険事業特別会計予算	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第27号	令和6年度角田市後期高齢者医療特別会計予算	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第28号	令和6年度角田市介護保険特別会計予算	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第29号	令和6年度角田市産業用地造成事業特別会計予算	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第34号	角田市道路線の認定について	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員	議案第1号	現行の健康保険証の存続を求める意見書の提出について	可決(8:7)	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○

全員が賛成したもの

提出者	議案番号	件名	
市	議案第4号	令和5年度角田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	
	議案第5号	令和5年度角田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	
	議案第6号	令和5年度角田市介護保険特別会計補正予算(第6号)	
	議案第8号	令和5年度角田市水道事業会計補正予算(第5号)	
	議案第9号	令和5年度角田市下水道事業会計補正予算(第5号)	
	議案第10号	角田市損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例の制定について	
	議案第11号	角田市附属機関の設置等に関する条例の一部改正について	
	議案第13号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	
	議案第14号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	
	議案第15号	角田市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部改正について	
	市長	議案第16号	角田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
		議案第19号	角田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準等に関する条例等の一部改正について
		議案第20号	市営住宅条例の一部改正について
		議案第21号	市営住宅条例及び角田市母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の一部改正について
		議案第23号	角田市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について
議案第30号		令和6年度角田市東根財産区特別会計予算	
議案第31号		令和6年度角田市水道事業会計予算	
市長	議案第32号	令和6年度角田市下水道事業会計予算	
	議案第33号	財産の無償譲渡について	
	諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	



産婦人科・小児科について

齋藤 克敏



議員▼産婦人科・小児科等を新たに開設するための助成金交付事業や、医学学生や看護学生向けの奨学金制度を早急に創設するべきではないかと考える。

産婦人科・小児科誘致について、市長の考えを問う。

市長▼産婦人科は、産科医不足によりみやぎ県南中核病院における周産期医療の分娩取り扱いを休止している。まずは周産期医療の再開を目指している。小児科の誘致には採算性、初期投資等の課題がある。他自治体小児科誘致の助成制度を含め検討を行っている。誘致して終わりではなく、将来にわたり継続的に運営していくことが重要であり、採算性が取れるかどうかの分析を行っている。議員▼子育て世代や今後

を心配する多くの市民から、市内に産婦人科・小児科医院の開設は強い要望がある。この問題は移住や定住とも深い関連があり、これから子どもを持ちたいと考えている家族が小児科や産科のない地域に定住するという選択をするのは難しい。開業する医師側のタイムリングや都合もある。できるだけ早く制度を整備しておかないと機会損失が生じる可能性もある。産婦人科・小児科開業医に対する助成金交付事業を早期に創設していただきたい。

議員▼医師や看護師を目指す学生が家庭の事情で諦めることがないように、将来的に地域の医療従事者として活躍できる奨学金制度を構築することで、地域の医療の担い手不足を解決する方法の一つに

なる。宮城県でも、医学士修学資金貸付事業を行っているが、募集人数が少ないため、本市在住の子どもたちに向けて制度を開始することは意義のあることだと考えるかどうか。

市長▼学生向けの奨学金制度については、市内の医療機関における医師・看護師不足への対応としては有効であると考えられるが、市内への小児科誘致・産婦人科誘致ということについては直接的な解決策につながりにくいとも考えている。全体的なフォルムとして、医師・看護師として県内でまずは経験を積むということがどこまで財政的に許されるか、その辺りも考えていかなくてはならない。



歩行者および自転車等が安全に走行できる道路整備について

菊地 利衛



○安全な通学路の整備を議員▼角田市通学路交通安全対策一覧(令和5年3月現在)によれば、2015年度及び2016年度に危険箇所とされた事業のうち「実施(改善)済み」は56%だ。どのように評価しているか。

議員▼通学路の安全性に不安を感じている保護者は相当いる。どのように安全性を確保するのか。

市長▼重点施策として県に要望する等、環境整備を進めていく。

議員▼小中学校の統廃合で通学環境が変化した。

教育長▼角田市通学路交通安全プログラムは、平成27年策定のため、見直しを検討している。

議員▼車道と歩道の分離が困難な所は、グリーンベルト(歩道を緑色で区

分する)の設置も有効だ。

市長▼通学路の安全対策の一つとして有効だが最も適した対策を検討する。

○高齢者も生き生きと暮らすための道路整備を議員▼「身体が動くうちには自転車や買い物や病院に行きたい」「健康のため出来るだけ自転車を活用したい」等の意見が多くある。生活の幅が広がるよう、市内各所から市中心部までの主要道に自歩道(歩行者も自転車も通行可)を設けるべきだ。

市長▼多額の整備費用と時間を要する一方で、市中心部へのアクセスは重要であり対応策を検討していく。

議員▼①角田山元線(枝野地区)、②角田柴田線(神次郎地区)、③亘理大

河原川崎線の梶内荒町間(北岡地区)にも自歩道を設置すべきだ。

市長▼①②は公共交通等で結ぶことが現実的で、

令和6年度施政方針について

議員▼本市出身の大学生や社会人に市内の企業を紹介するなど、もう一歩踏み込み、若い世代に本市のアピールをすべきだ。

市長▼検討していく。

議員▼20〜30代の女性が生き甲斐を持ち、働ける環境をつくるのが本市の活性化に不可欠だ。

市長▼環境整備は重要なので、実現を目指す。

議員▼活気ある角田市を誰もが望んでいる。果敢にチャレンジすべきだ。

市長▼更に努力していく。

気候変動等の災害に備えるため池管理について

戸村 眞喜夫



議員▼今冬は暖冬で降水量が異常に少なく、春から夏にかけて渇水が心配されている。また、中山間地域で重要な役割を果たすため池が傷んでいると聞く。ため池は、農業用水の確保のほか、洪水調節機能等の多面的機能があるが、傷んでいてはいざという時の災害防止にならない。角田市で管理しているため池数(限東地区と限西地区)と補修計画について問う。

市長▼限東地区38カ所、限西地区44カ所、全体で82カ所ある。重大な問題個所は現状無いと確認しているが、緊急を要する箇所は現場確認後、早急に対応し、その他の個所は、重要性や地域の要望を考慮し、国・県の事業を活用しながら計画的に補修等を行っている。

議員▼現在、尾山地区の内町下ため池は、堤体決壊等の被害を未然に防止する対策工事を行っているが、当該ため池の水を利用する稲作農家の令和6年の作付けに影響がないのか、今後の工事予定、用水対策等を問う。

市長▼用水を確保するため、県や角田土地改良区と連携して、ため池に仮堤防を構築し貯水しながら施工している。県の農村地域防災・減災事業であり、関係機関と協議し、土地改良区組合員に負担をおかけしないように対応していきたい。

自転車用ヘルメット着用促進事業の進捗状況について

議員▼令和6年度角田市予算案及び施政方針で、「市民の交通安全意識の高揚と事故軽減を図るため、引き続き自転車用ヘルメット購入に係る経費を助成し、再度、着用促進の提案があった。令和5年度の予想と実績、一番リスフにさらされている小中高生の着用率の現状と向上率対策を問う。

市長▼着用率(令和5年11月時点)は、全体で10・5%、同年6月比較で3・5%の上昇。チラシの配布等、引き続き周知徹底を図る。

教育長▼小中学生は登下校時100%だが、高校生は1%である。小中学校では、交通安全教室や長期休業前の指導を行っている。

議員▼自転車用ヘルメット着用促進事業の周知も含め、今後のヘルメット着用普及活動をどのように実施していくのか。

市長▼令和7年度までにヘルメット着用率30%を目指し、民間事業者や自転車組合等と連携し、様々なキャンペーンを展開しながら全市を挙げて取り組んでいく。



令和6年度施政方針について

星 隆悦



議員▼自助、共助、公助のうち、公助の予算や事業を増やす方針なのか。

市長▼施策に優先順位をつけ、必要なものに適切に対応しつつ、役割を終えた施策は、廃止・縮小し、身の丈にあった自治体経営をする。

議員▼渋沢栄一著「論語と算盤」中で、「論語は道徳であり、算盤は経営である」と言っている。これは株主資本主義に対する公益資本主義(公平性、持続性、改良改善性)と言われ、自治体運営においても、求められる理念だと思いが見解を問う。

市長▼学ばせてもらう。

議員▼「KPIを定めPDCAサイクルを回しながら、目的達成を目指す」中、今年度は市民アンケートで評価してもらうことだが、まず執行機

関から自己評価をし、未達成原因を追及すべきと考えるが。

市長▼自己評価は、一次評価として、KPIを参考に前年度の成果と課題、さらに今後の方針を施策担当課が評価シートに記入する形で行う。その後、二次評価として、特別職及び部課長等で構成する「長期総合計画等推進本部会議」で、施策の課題や方針を協議している。

議員▼問題の先送りが一番の問題である。市民は早期実現、迅速でスピード感を持った行政運営を望んでいる。市長の見解を問う。

市長▼第6次長期総合計画の運用に当たり、検証を重ねて進めていく。

議員▼女性の活躍推進に「行政における管理職への登用」がないのはなぜか。

市長▼女性の管理職への登用は、第6次長期総合計画及び第2次男女共同参画計画で、評価指標としており、当然進めるべきものと認識している。

議員▼「角田市阿武隈急行線利用促進協議会を通し、市民や沿線自治体と協力した利用促進策を検討・実施する」とのことだが、検討でなく、実施の段階である。行政ができる新たな施策を問う。

市長▼同感である。協議会は令和5年10月の設立以降、ワークショップ等で検討を重ねている。実行可能な施策は、順次実施し、利用促進を図る。

また、3月20日の市民による「阿武隈急行フェスタ」の共催、職員等の通勤・通学、出張等で阿武隈急行を活用するなど、できることから実施している。



中山間地区の火災並びに生活用水対応策として水道水本管の延長と防火水槽等の消防設備の促進について

瀧口聖人



議員▼中山間地区の家庭は水道水がなく、生活用水は井戸水を利用し生活している現状にある。近年は地球温暖化の影響のため、井戸が枯渇気味で地区民は不安を覚えている。

があり、当該区間の住民に対し、工事概要の説明と水道への接続が可能であることを併せて説明し、水道の普及推進を図っている。この工事で新たに約20軒が給水可能となったが、給水設備の工事費用に対する負担感や他水源の利用で事足りるため、給水を希望する世帯は少ない状況となった。

議員▼西根の高倉釜前地区の場合、近くに白石市水道本管が布設されているので、その本管を使用できないのかとの要望がある。可能であれば、実現を図るべきと思うが、市長の見解を問う。

西根の小原田地区には貯水施設(高倉配水池)があるが、水道水本管の延長による設置対策と現状について問う。

市長▼高倉配水池は、東日本大震災による断水被害を教訓として、仙南・仙塩広域水道の受給が途切れるリスクを最小限にするため、市内2カ所目の受水池として整備した。その際、配水池から既設管へ接続するため、新たに配水管を布設する必要

議員▼高年齢者を支援するために介護保険制度の理解が必須だが、周知等どう取り組んでいるのか。市長▼広報かくたやパンフレット、出前講座、65歳到達時に保険証と一緒にチラシを同封している。議員▼要介護認定を申請しても判定に約2カ月を要する。その間の対策は、市長▼早急な場合、優先した訪問調査や、認定は申請日適用のためサービスを先行利用できる旨の説明を行う。

市長▼高倉配水池は、東日本大震災による断水被害を教訓として、仙南・仙塩広域水道の受給が途切れるリスクを最小限にするため、市内2カ所目の受水池として整備した。その際、配水池から既設管へ接続するため、新たに配水管を布設する必要

給水管の取出し工事のみを行った8軒のうち、給水設備工事を行い、現在水道を使用している世帯は1軒である。

議員▼高年齢化で要介護者が増えると、介護人材の不足が懸念されるが。市長▼大きな課題である。議員▼角田市の高齢化率は37.7%、20年後には46.2%となる推計。介護人材不足に備えて、角田市主導で介護研修会や資格取得の費用助成をしていくべきではないか。市長▼真剣に考えていくべきと改めて認識した。

議員▼小原田地区で給水可能な世帯が井戸枯渇などで水道水を給水したいとの希望があった場合、給水は可能か。

議員▼小原田地区で給水可能な世帯が井戸枯渇などで水道水を給水したいとの希望があった場合、給水は可能か。

議員▼高年齢化で要介護者が増えると、介護人材の不足が懸念されるが。市長▼大きな課題である。議員▼角田市の高齢化率は37.7%、20年後には46.2%となる推計。介護人材不足に備えて、角田市主導で介護研修会や資格取得の費用助成をしていくべきではないか。市長▼真剣に考えていくべきと改めて認識した。



令和6年度角田市予算案及び施政方針に関する説明要旨に関することについて

日下七郎



議員▼「地区計画」リニューアルを各地区でまとめ上げ」とは、各地区振興協議会が「地区計画」をリニューアルし、まとめ上げることか。

議員▼「地区計画」は、これまでの行政主導型の地区づくりでなく、住民主体の地域づくりを推進するために地域の将来像や目標、地域課題の解決方法など、住民の声を反映した地域づくり計画である。

議員▼地区振興協議会が協働のまちづくりを推進するため、各地区に設置された地域運営組織の任意団体で、様々な事業に伴う責任は、代表者個人が負う場合があり、事業で損害を発生させた場合も代表者個人の責任となってしまう可能性がある。しかし、本市の各地区振興協議会は、現状では、地域行事の開催や環境整備等の地域コミュニティをベースとした活動を展開しており、収益事業やサービス提供を行っているため、大きな支障は出ないと認識している。



特定都市河川への指定が予定されている小田川はじめ4河川の流域治水事業について

柄目孝治



議員▼特定都市河川とはどのような性格・制度なのか。

議員▼指定後、それぞれの河川および流域における治水事業が、具体的にどう加速化し、いつまでどのような対策が実施されるのか疑問は尽きず、どこかかけ離れたところ

見聴取やパブリックコメントを実施し、流域関係者の意見をしっかりと反映できるものと考えている。議員▼特定都市河川指定に向けた取り組みに市長自ら遺憾なく政治力を発揮いただいたことに感謝しつつも、やはり正確にして素早い情報を得るなど、被害当事者の意見は貴重である。現時点で、県や国が施策を示さなければ、市としては何もできないのか、改めて問う。市長▼ご指摘の通り、市民の意見が反映したか



更なる少子高齢化の時代に備えた安心した生活・将来に向けて

齋藤 強



角田市防災・減災構想について

議員▼小田川以外の県管理河川(8河川)の浚渫の進捗状況は。

のようになっていくか。市長▼堤防整備等を進めている。下流域70万㎡の河道掘削を予定し、進捗状況は現在約86%である。

議員▼特定都市河川に指定されるが、どのような対策やメリットがあるか。

議員▼廃校となった学校でも各団体がスポーツに汗を流しているため、すべての体育館にAEDを設置すべきではないか。

議員▼特定都市河川に指定されるが、どのような対策やメリットがあるか。

議員▼市内のAED設置施設を市のホームページで検索できるよう整備すべきではないか。

議員▼流域水害対策協議会が設置され、浸水被害防止を図るための流域水害対策計画を作成して、河川区域、集水域、氾濫域での浸水被害対策が一体的に行われる。河川整備ハード対策の加速化等のメリットがある。

市長▼仙南広域消防本部と消防署で受講できるほか、団体の場合は消防署で開催が可能である。

議員▼排水ポンプの新設や強化の事業が予定されているが、排水先のほとんどは阿武隈川である。阿武隈川の河川整備はど

市長▼公共施設以外、各消防本部等の設置マップの活用を検討していく。

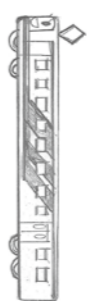


「阿武隈急行線保守への覚悟 会津只見線に学ぶ」について

菅野 マホ



議員▼今年2月初旬に所属党派で、新潟・福島豪雨で甚大な被害を受けたJR只見線を視察した。11年間で90億円もの復旧費用で全線開通した背景には、福島県知事の「鉄路はなくさない」という強い覚悟があったと聞く。



現在の阿武隈急行線への角田市の負担額と、宮城県沿線自治体間の割合、また令和7年度からの割合を問う。

市長▼令和4年度は合計2億3627万3千円、令和5年度は1億5646万2千円を支援しており、角田市の割合は令和5年度で48.9%である。令和7年度からの負担割合の算出方法は、阿武隈急行線再生支援協議会において、令和6年度中

に協議する。

議員▼例えば柴田町の支援がゼロになったとしても、角田市は「阿武隈急行線を守る」という、それぐらいの覚悟はあるかを問う。

市長▼「阿武隈急行線は存続をしていく」、そういう覚悟を持って今取り組んでいる。ゼロということはないと思うが、市民の要望が強ければ確認をしながら決定していくことになると思う。財源の負担が大きくなるため、市民にも覚悟をお願いすることになるだろう。

議員▼覚悟は言葉だけでなく体現してこそ市民に見えるもの。例えば、柴田町・丸森町・角田市の3首長が揃って村井知事に、「沿線住民も頑張っていますよ」との報告を兼ねて阿武隈急行線保守の要望に行く、また国に

も要請・要望に行く等、首長が動く時期になってきていると思うが。

市長▼在り方検討会の進捗状況を見ながら、我々も行動を起こさなくてはいけない時期を見定めているところだ。宮城県側の3市町が協議をしつつありして、その結果をもって県とも協議していく。

議員▼只見線の運営費は「会津はひとつ」の考えの下、沿線自治体のみならず、非沿線自治体も負担している。阿武隈急行線も「仙南はひとつ」の考えの下、広域として非沿線の1市5町の首長へ協力を求めている。連携を図れるように検討したい。

市長▼阿武隈急行線は、仙南2市7町の大切な公共機関のひとつであると考えている。連携を図れるように検討したい。



地区振興協議会要望事業について

渡邊 誠



議員▼本事業についての認識を問う。

市長▼地区振興協議会要望事業は、東日本大震災の影響で、実質平成24年度からスタート（着工）し、当時は、各地区からの要望・陳情に対して、市全体のバランスや財源確保、事業の優先順位などから、なかなか応えることができない地域の声に少しでも善処を図るため、市全体では優先順位の低い事業や国・県の補助事業に該当しないような小規模事業等にも対応できるように制度設計をしている。

個別には、国・県の補助を受け当初計画よりも早期に完了したものや、比較的小規模な事業は順調に完了したが、いまだ完了できていない事業もある。

議員▼令和5年度までの事業の進捗状況について問う。

市長▼地区振興協議会要望事業として進捗管理をしている21の事業のうち、現時点までに完了したものは18事業、現在進行中のものが3事業ある。

議員▼本事業は、いつ完了予定か。

市長▼現在進行中の3事業の①角田地区の中島下地内歩道整備事業は令和10年度の完了予定である。

②小田地区の市道丸山大久保線および市道丸山専福寺線のかさ上げ、排水路の改修事業は、市道丸山専福寺線は令和9年度完了予定で、市道丸山大久保線は令和10年度から着手予定である。③東根地区の銀杏石切線道路改

る。

議員▼令和5年度までの事業の進捗状況について問う。

市長▼地区振興協議会要望事業として進捗管理をしている21の事業のうち、現時点までに完了したものは18事業、現在進行中のものが3事業ある。

議員▼本事業は、いつ完了予定か。

市長▼現在進行中の3事業の①角田地区の中島下地内歩道整備事業は令和10年度の完了予定である。

②小田地区の市道丸山大久保線および市道丸山専福寺線のかさ上げ、排水路の改修事業は、市道丸山専福寺線は令和9年度完了予定で、市道丸山大久保線は令和10年度から着手予定である。③東根地区の銀杏石切線道路改

良事業は、第1工区が令和7年度、第2工区が令和17年度完了予定である。

議員▼現在、地区振興協議会では、地区計画の見直しを行っている最中で、市民と行政の協働のまちづくりの点検・再出発の局面となっている。この地区振興協議会要望事業についても、既に10年以上経過しており、この際ひとつの区切りとして、早期に完了すべきと考え

市長▼事業の基本方針もあり、すぐ全部完了させるとは言いえないが、議員御指摘のとおり、大きな区切りであるということを考えれば、いま一度、見直しをして、なるべく善処してできるだけ早くしていく。

「空き家」対策の現状と今後について

八島 定雄



議員▼「空家等対策の推進に関する特別措置法」改正の見解を問う。

市長▼市が所有者に対し指導・監督できる制度が創設された。所有者は責務の強化、適正な管理の努力義務に加え、国・自治体の空き家対策に協力する努力義務が設けられた。本市も改正の趣旨に沿った対応を進めたい。一方的な指導強化にならないよう、所有者と話し合い、「管理不全空き家」の解消に努めたい。

議員▼直近で把握している「管理不全空き家」の件数は、どれくらいか。

市長▼令和5年12月時点で14件確認している。

議員▼「特定空家等」としての把握は何件か。

市長▼そのまま放棄すれば倒壊等が著しく保安上危険、衛生上有害、景観を損なっている等、周辺

の生活環境保全のため、放置することが不適切と

認められる状態を「特定空家等」に指定するが、指定した空き家は、議員▼「特定空家等」の所有者に対する「報告徴収権」はどのように変わるのか。

市長▼法改正により、市に「報告徴収権」が付与されたことから、管理状況の把握が行政として行いやすくなった。

議員▼角田市は「空き家等対策計画」をまだ策定していない。今後、策定していく考えがあるか。

市長▼現在、策定に向けた庁内体制の整備を進めている。

議員▼対策計画の目的は、いつ頃になるか。

市長▼令和6年度あるいは令和7年度となるか、早急に策定していきたい。

議員▼長時間勤務による「学校の危機」認識とその改善策について

議員▼時間外労働に関して、小・中学校の教師の最新の現状はどうか。

教育長▼令和4年度は、1人当たり月33時間42分、年間404時間30分で360時間を超える。

議員▼「教員の長時間労働の歯止め」策を問う。

教育長▼今後も必要な取組を継続・拡充するが、基本的に人を増やすか、業務を減らすしかない。教育委員会や学校でできる対策には限界がある。

議員▼公立学校教員給与特別措置法（※1）について市長の所見を問う。

市長▼現場の実態に合わないと感じている。（※1）法律制定当時（昭和46年）の教員の超過勤務時間は平均月8時間程で、それに相当する額（給与月額



角田市のゼロカーボンシティに向けた取り組みについて

小湊 毅



議員▼角田市は、令和4年に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、これを受け、先日、角田市地球温暖化対策総合計画（案）が提示された。市民の方々、企業の方々と一緒に取り組んでいくことは非常に有意義であり、大いにこの取り組みを進めていただきたい。

これまで角田市では、様々なバイオマス発電や燃料の利用等について、全く実現できていないのが現状であると考える。今回しっかりと取り組みを実現させるのか。

市長▼角田市で何が一番効果的かを見定める必要がある。牛等の堆肥から出たメタンガスでは十分な量は産出していない。木質チップは全部利用しても発電には向かない。熱効率に変えていくのが一番有効か等を見極

めながら、バイオマスの循環をしていく中で、もみ殻や広葉樹・針葉樹を更新することについて有効な部分が多々あるだろうと考える。しっかりと研究を重ね、活用していく。全て網羅できることに至らなくても、実験的なところ、補助的なところを取り組んでいきたい。

議員▼「脱化石燃料・脱炭素」に向けた取り組みは、夢のあるものが多種多様にわたり実にたくさんある。常日頃から、話を聞く、見せてもらう、考え方を教えてもらうことを行うべきであり、角田市としても体制を整え、担当者設けるべきではないか。

市長▼今回の計画策定の中でも、多くの知見を持って参入していただいたが、我々が認識し切れていない部分も多々あった。

貪欲に情報収集をする、つながりをつくることはとても大事である。担当課だけでは成し得ないことであり、関係各課と連携した庁内ブロッktopプロジェクト会議を開催し、情報収集や補助事業などの新たな取り組みの協議を行っている。情報収集を行いながら、ゼロカーボンに向けて庁内で活発な検討を行う体制づくりは必ず進めなければいけない。また、これは予算が必要な部分であり、大学や研究所等とウイン・ウインな関係になれば望ましい。

なお、投資をするという考え方について、理解をいただくための説明が伴ってくるため、熱意と知識も伴わなくてはいけない。体制づくりは非常に重要だと考える。

た。

議会だよりモニター委嘱状交付式

▶議会だよりモニター委嘱状交付式は、議会議場で行われました。



角田市議会では、「かくだ市議会だより」の紙面の充実を図るため、令和4年度より議会だよりモニター制度を実施しています。

4月16日、議会だよりモニターに応募いただいた皆さまに、議長より委嘱状を交付しました。

議会だよりモニターの方々には、4月1日から2年間の任期中、5月・8月・11月・2月に発行する「かくだ市議会だより」を読んでいただき、アンケート調査に回答していただきます。

第226号(2月号)のアンケート結果をご覧ください。



▲委嘱状交付式の様子

モニターの皆さまから様々なご意見をいただきながら、読みやすく、わかりやすい紙面づくりを目指してまいります。

4月		3月		2月		1月	
18日	議会だよりモニター委嘱状交付式	29日	予算審査特別委員会(第2日)	1日	かくだ市議会だより第226号発行	26日	第425回臨時会招集告示
16日	議会だより編集会議	28日	予算審査特別委員会(第1日)	2日	本会議(第1日)・全員協議会		
		20日	本会議(第2日)	5日	議員研修会・議会だより編集会議		
		16日	議会運営委員会	9日	第426回定例会招集告示		
		13日	議員協議会・議会運営委員会				
		4日	議会運営委員会				
			議会だより編集会議				
		6日	総務産業常任委員会				
		5日	本会議(第3日)				
		8日	予算審査特別委員会(第3日)				
			予算審査特別委員会(第4日)				
			会派代表者会議				
			予算審査特別委員会(第5日)				
			本会議(第4日)				
			本会議(第5日)・議会運営委員会				
			本会議(第6日)・議会運営委員会				
			議会だより編集会議				

編集後記

はじめに、議会だよりモニターの皆様応募ありがとうございました。2年間宜しく願ひ致します。

新緑のまぶしい木々の青さから力強い生命力を感じる季節となりました。市民の皆様、五月晴れの美しい空を眺めながら、市内各地の観光スポット(高蔵寺・斗蔵山・四方山・台山公園・菜の花畑等)を改めて、家族・友人・知人をお誘いの上、散策したら如何でしょうか。すがすがしい若葉の季節、大いに英気を養いたいものです。そして風にたなびく鯉のぼりのように、元気いっぱい頑張らしましょう。

議会だより編集会議
委員 瀧口 聖人

6月定例会の予定

会期 6月7日(金)～6月25日(火)

本会議の日程(午前10時開会)	
6月7日	提案理由の説明
18日	質疑・自由討議
21日	討論・表決・一般質問
24日	一般質問
25日	最終日

※日程は変更になる場合があります。
※本会議はライブ配信(生中継)を行います。

能登半島地震 被災地に災害義援金を送りました

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、甚大な被害が発生した被災地の1日も早い復旧・復興を支援するため、角田市議会では全議員(16人)からの災害義援金20万円を日本赤十字社石川県支部に送金しました。

このたびの災害で犠牲となられました方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに対し、心よりお見舞い申し上げます。

VEGETABLE LINK
環境に優しい植物由来のインクを使用しています。

UPD
臭いやくさみ、変色を防ぐために、ユニバーサルデザインインクを採用しています。

印刷/佐藤印刷株式会社